



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月9日
東

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所
 コード番号 7722 URL http://www.kokusaikk.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 進一
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 博司 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	8,624	4.5	537	84.0	630	144.2	369	—
2021年3月期第3四半期	8,255	△9.5	292	△80.3	257	△82.6	△37	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 534百万円(176.3%) 2021年3月期第3四半期 193百万円(△83.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	26.59	—
2021年3月期第3四半期	△2.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	17,870	11,153	61.5
2021年3月期	18,690	11,125	58.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 11,001百万円 2021年3月期 10,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	10.00	25.00
2022年3月期	—	10.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	△0.0	700	70.0	700	23.3	420	133.6	29.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	14,200,000株	2021年3月期	14,200,000株
2022年3月期3Q	451,649株	2021年3月期	121,649株
2022年3月期3Q	13,913,951株	2021年3月期3Q	14,050,639株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、前連結会計年度から続く新型コロナウイルス感染症の世界的拡大と、米中貿易摩擦の長期化や、中東や朝鮮半島における地政学的リスクの高まりなど世界経済の不確実性の影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

また、日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、企業の設備投資も弱含んだ状況が続いております。なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資については、当第3四半期連結累計期間において、軟調に推移しておりますが、当社の主力顧客である中国企業の欧州や東南アジア等への海外進出が続いているものの、大型の設備投資については慎重に検討されております。

また、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、CASEやカーボンニュートラルなどの世界的潮流への対応に注力するなか、ハイブリッド車などの低燃費エンジンや電気自動車等の環境や省エネに配慮した自動車部品に対する製造・研究開発分野への投資が続いておりますが、半導体供給不足による減産や各種素材の価格高騰などの懸念材料もあるため、設備投資については慎重に検討されております。

このような経営環境の中で当社グループは、お客様やグループ間でオンライン会議を活用しながら、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンとともに、研究開発用でありイニシャルコストとランニングコストの低減が見込める電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、国内及びアジアを中心に積極的に展開しております。この結果、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカー向けの生産ライン用タイヤ関連試験機や国内の自動車部品メーカー向けの電気サーボモータ式振動試験機等の受注を獲得いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高86億2千4百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益5億3千7百万円（前年同四半期比84.0%増）、経常利益6億3千万円（前年同四半期比144.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億6千9百万円（前年同四半期は3千7百万円の損失）となりました。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う客先との納期調整や海上輸送船舶及びコンテナ不足に伴う輸出待ちは継続しており、国内向けのバランスングマシンの売上が減少したものの、アジアのタイヤメーカーを中心としたバランスングマシンの売上が増加したため、前年同四半期と比較して増加しております。利益面につきましては、利益率の改善により、前年同四半期と比較して増加しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

[日本 (国際計測器株式会社)]

主に国内向けバランスングマシンの出荷・検収が減少したものの、海外向けバランスングマシンの出荷・検収が増加したため、全体として出荷・検収は増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	76億6千万円 (前年同四半期比22.6%増)
経常利益	8億5千8百万円 (前年同四半期比293.2%増)

[日本 (東伸工業株式会社)]

電力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が増加したものの、材料試験機の出荷・検収は減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	2億3千6百万円 (前年同四半期比6.6%減)
経常利益	3百万円 (前年同四半期比24.4%減)

[米国]

日系の大手自動車関連メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が減少し、米国の自動車部品メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	2億9千4百万円 (前年同四半期比58.2%減)
経常損失	8千8百万円 (前年同四半期は3千9百万円の損失)

[韓国]

韓国大手自動車関連メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少し、電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	9億9千5百万円 (前年同四半期比25.0%減)
経常利益	5千5百万円 (前年同四半期比64.9%減)

[中国]

中国国内のタイヤメーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が増加したものの、自動車部品メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高	3億7千3百万円 (前年同四半期比19.0%減)
経常損失	2千8百万円 (前年同四半期は9百万円の利益)

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、178億7千万円（前連結会計年度末比8億2千万円減）となりました。これは、売上の増加により受取手形及び売掛金が増加（前連結会計年度末比2億4千6百万円増）したことや株価の上昇により投資有価証券が増加（前連結会計年度末比9千5百万円増）したものの、仕掛品が減少（前連結会計年度末比3億8千2百万円減）したことや現金及び預金が減少（前連結会計年度末比2億4千万円減）したこと及び海外物件の出荷に伴い商品及び製品が減少（前連結会計年度末比4億5千6百万円減）したことが主たる要因であります。

(負債の部)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、67億1千6百万円（前連結会計年度末比8億4千8百万円減）となりました。これは、運転資金拡充のため借入を実行したことにより短期借入金が増加（前連結会計年度末比2億1千万円増）したことや1年内返済予定の長期借入金が増加（前連結会計年度末比1億8百万円増）したものの、受注の減少により支払手形及び買掛金が減少（前連結会計年度末比8億7千6百万円減）したことや前受金が減少（前連結会計年度末比3億9百万円減）したことが主たる要因であります。

(純資産の部)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、111億5千3百万円（前連結会計年度末比2千8百万円増）となりました。これは、自己株式の取得により自己株式が増加（前連結会計年度末比2億2千7百万円減）したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより利益剰余金が増加（前連結会計年度末比9千1百万円増）したことや、その他有価証券評価差額金が増加（前連結会計年度末比6千6百万円増）したこと及び為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比9千5百万円増）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、通期の業績については計画通りに推移すると見込まれており、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループとしては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を予測することは困難であり、我が国を含む海外諸国の多くで経済活動再開のためにワクチンの接種が進んでいるものの、オミクロン株による感染拡大が続いており、当社の業績にどのような影響を与えるかを正確に予測するのは難しいと想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,914,142	5,673,950
受取手形及び売掛金	2,678,681	2,925,278
商品及び製品	638,545	182,059
仕掛品	3,146,112	2,763,492
原材料及び貯蔵品	546,048	634,631
その他	487,140	367,153
貸倒引当金	△3,073	△3,816
流動資産合計	13,407,598	12,542,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,087,669	3,099,844
機械装置及び運搬具	221,062	221,882
土地	1,304,251	1,304,014
リース資産	3,036	3,036
その他	297,007	302,526
減価償却累計額	△1,811,620	△1,915,787
有形固定資産合計	3,101,406	3,015,517
無形固定資産		
その他	68,405	62,904
無形固定資産合計	68,405	62,904
投資その他の資産		
投資有価証券	467,122	562,838
長期貸付金	8,227	6,934
繰延税金資産	18,033	5,327
保険積立金	1,292,497	1,303,513
その他	478,712	590,457
貸倒引当金	△151,144	△219,671
投資その他の資産合計	2,113,450	2,249,399
固定資産合計	5,283,261	5,327,820
資産合計	18,690,860	17,870,569

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,405,971	1,529,090
短期借入金	1,320,000	1,530,000
1年内返済予定の長期借入金	370,996	479,187
未払法人税等	140,987	239,548
賞与引当金	88,783	43,750
製品保証引当金	110,686	126,194
前受金	1,463,329	1,153,921
その他	342,902	381,772
流動負債合計	6,243,657	5,483,464
固定負債		
長期借入金	789,074	696,956
繰延税金負債	144,805	145,829
役員退職慰労引当金	158,616	165,376
退職給付に係る負債	211,646	207,179
資産除去債務	17,676	17,889
固定負債合計	1,321,817	1,233,230
負債合計	7,565,474	6,716,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	8,839,976	8,931,686
自己株式	△99,523	△327,223
株主資本合計	10,699,952	10,563,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	284,905	351,251
為替換算調整勘定	△9,113	86,249
その他の包括利益累計額合計	275,792	437,500
非支配株主持分	149,640	152,412
純資産合計	11,125,385	11,153,875
負債純資産合計	18,690,860	17,870,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	8,255,982	8,624,123
売上原価	5,578,568	5,751,802
売上総利益	2,677,413	2,872,320
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	89,421	98,725
貸倒引当金繰入額	18,931	69,270
役員報酬	299,361	293,327
給料手当及び賞与	604,598	605,189
賞与引当金繰入額	8,162	18,938
退職給付費用	21,660	18,198
役員退職慰労引当金繰入額	6,360	6,760
運賃	221,316	289,565
減価償却費	24,452	22,989
研究開発費	32,641	36,064
その他	1,058,339	875,675
販売費及び一般管理費合計	2,385,246	2,334,705
営業利益	292,167	537,615
営業外収益		
受取利息及び配当金	34,916	23,720
為替差益	-	73,948
関係会社株式売却益	16,644	-
その他	13,361	10,092
営業外収益合計	64,922	107,760
営業外費用		
支払利息	6,033	9,389
売上債権売却損	1,144	784
為替差損	73,756	-
保険解約損	623	1,072
その他	17,536	4,070
営業外費用合計	99,093	15,316
経常利益	257,996	630,059
税金等調整前四半期純利益	257,996	630,059
法人税、住民税及び事業税	92,742	266,437
過年度法人税等	156,121	-
法人税等調整額	40,002	△15,749
法人税等合計	288,865	250,687
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,868	379,372
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,928	9,395
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△37,797	369,976

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,868	379,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132,166	66,345
為替換算調整勘定	92,119	88,739
その他の包括利益合計	224,285	155,084
四半期包括利益	193,417	534,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,302	531,685
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,885	2,771

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年8月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式330,000株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が227,700千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が327,223千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

これによる当社及び連結子会社の収益を認識する方法に変更はなく、国内販売においては主に顧客により製品が検収された時に、輸出版売においては主にインコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	6,052,208	201,870	703,282	873,387	391,423	8,222,172	33,809	8,255,982
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	194,185	51,600	—	454,317	69,719	769,822	57,753	827,575
計	6,246,394	253,470	703,282	1,327,704	461,142	8,991,994	91,563	9,083,558
セグメント利益 又は損失(△)	218,379	4,342	△39,022	158,100	9,233	351,033	16,175	367,209

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	351,033
「その他」の区分の利益	16,175
セグメント間取引消去等(注)	△109,212
四半期連結損益計算書の経常利益	257,996

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が151,530千円含まれております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
バランスングマシン	5,169,557	—	36,732	347,608	143,897	5,697,795	5,685	5,703,481
電気サーボモータ式振動試験機	1,408,465	—	54,155	129,051	—	1,591,672	—	1,591,672
材料試験機	—	217,890	—	—	—	217,890	—	217,890
シャフト歪自動矯正機	174,692	—	—	45,208	26,932	246,833	—	246,833
その他	508,726	—	188,915	51,276	91,381	840,300	23,945	864,245
顧客との契約から生じる収益	7,261,440	217,890	279,804	573,145	262,212	8,594,491	29,631	8,624,123
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,261,440	217,890	279,804	573,145	262,212	8,594,491	29,631	8,624,123
セグメント間の内部売上高又は振替高	398,821	18,900	14,204	422,197	111,419	965,542	99,707	1,065,250
計	7,660,261	236,790	294,008	995,342	373,631	9,560,034	129,338	9,689,373
セグメント利益又は損失(△)	858,693	3,281	△88,987	55,531	△28,628	799,890	41,148	841,039

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	799,890
「その他」の区分の利益	41,148
セグメント間取引消去等(注)	△210,979
四半期連結損益計算書の経常利益	630,059

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が166,511千円含まれております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	5,703,481	+4.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,591,672	+10.1	日本(国際), 韓国
シャフト歪自動矯正機	246,834	△44.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	217,890	+7.9	日本(東伸)
その他	864,245	+22.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	8,624,122	+4.5	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

区 分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	3,975,628	△28.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	878,230	△14.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	324,641	+95.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	324,703	+47.9	日本(東伸)
その他	913,834	+36.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	6,417,038	△15.7	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第3四半期連結累計期間末(2021年12月31日)

区 分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	5,270,765	△29.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,622,169	△35.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	337,442	+12.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	153,154	+19.8	日本(東伸)
その他	66,913	+1.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	7,450,445	△29.1	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

区 分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	5,703,481	+4.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,591,672	+10.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	246,833	△44.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	217,890	+7.9	日本(東伸)
その他	864,245	+22.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	8,624,123	+4.5	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。